

令和3年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立紅葉川学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
 (2) 事務局の構成 主幹教諭(教務主任兼務)=事務局長、教務部員1名 計2名
 (3) 内部委員の構成
 校長、副校長、経営企画課（室）長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任 計6名
 (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
 P T A会長、同窓会会長、近隣中学校長、近隣小学校長、近隣自治会長、なぎさ和楽苑長、葛西警察生活安全課少年係、江戸川区文化教育部健全育成課長 計8名

2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 第1回 令和3年6月25日（金曜）内部委員6名、協議委員4名
 ・協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
 ・令和2年度学校経営報告・令和3年度学校経営計画
 ・本校の現状と課題等説明、意見交換
 協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
 第2回 令和3年9月11日（土曜）
 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、開催中止とする。
 第3回 令和4年2月14日（月曜）
 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、開催中止とする。
 ・学校評価アンケート結果を送付し、意見を聞く。
 (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 第1回 令和3年6月25日（金曜）内部委員3名、協議委員3名
 ・学校評価の基本方針の確認
 ・今年度の学校評価の実施に向けた検討
 ・今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
 第2回 令和3年9月11日（土曜）内部委員3名、協議委員3名
 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、開催中止とする。
 第3回 令和4年2月14日（月曜）新型コロナウイルス感染拡大につき中止
 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、開催中止とする。
 ・学校評価アンケート結果を送付し、意見を聞く。

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
 「学校への理解」「生活指導・進路指導への評価」「教育環境の改善」の観点で実施する。
 (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月 全校生徒	対象：711人	回収：674人	回収率：94.7%
・12月 保護者全員	対象：709人	回収：196人	回収率：27.6%
・12月 地域・住民	対象：20人	回収：13人	回収率：65.0%
・12月 教職員	対象：41人	回収：41人	回収率：100%

 (3) 主な評価項目
 ・※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備
 ライフ・ワーク・バランスの推進など
 (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 ・生徒の85.3%が、本校に満足している。保護者は、87.2%である。
 ・生徒の79.5%が、本校の授業について満足している。
 ・生活指導は、生徒の90.5%・保護者の89.7%の支持を得ている。
 ・進路指導は、生徒の87.3%・保護者の85.7%の支持を得ている。
 ・教員の姿勢については、生徒の86.4%・保護者の91.3%が支持している。

- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
- ・「生徒による授業評価」の実施等により生徒の声を聞くとともに、教科担当者が指導計画、評価等について更に説明を行うことが大切である。
 - ・進路指導の満足度が3学年以外は低いので、1・2学年から進路意識をもたせる指導が重要である。
 - ・保護者のアンケートの回収率が、封書からQRコード等に変更した結果、大幅に低くなった。ホームページ等を利用して、アンケートの回収率を高くすることが求められる。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
- ・生徒の授業についてのアンケート結果から、授業改善に向けた充実が必要であると認識できた。
 - ・地域からの信頼が徐々に回復していることが感じられた。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題
- ・近隣の住民は、学校の地域行事への参加を望んでいることが分かった。
 - ・小・中学生は、本校生徒との交流を望んでいることが分かった。
 - ・地域との防災をはじめとした協力体制の充実が必要である。
 - ・近隣の小学校と中学校の期待が高まっているので、HPでの情報提供を続けて実施すること。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

- (1) 学校運営
- ・生徒・保護者に対して、HPやPTAメールを送信し、学校の教育方針を説明し理解を得る。
 - ・教育相談については、個別の対応をスクールカウンセラーとの連携を強化する。
 - ・学期ごとに校内研修会を実施し、若手教員育成研修とともに充実を図る。
- (2) 学習指導
- ・基礎学力の充実から大学受験に対応できる学力まで、読解力を深め、主体的、対話的な深い学びを通して、思考力、表現力、読解力を高める授業を推進し、卒業時の進路実現へ向けて行く。
 - ・日東駒専を目指して、一般入試を視野に入れた授業を実施していく。一般受検で、希望する大学へ挑戦することを指導したが、推薦などに流れる生徒も多かった。
 - ・生徒の希望する進路の実現に向けた授業力を向上するための校内研修を計画的に実施する。
- (3) 特別活動
- ・運動部の更なる活躍を期待しながら、効率的な練習方法を考慮する。
 - ・文化祭等の学校行事が新型コロナウイルス感染症対策のために、縮小したために十分な成果が得られなかった。
- (4) 生活指導
- ・自転車マナー指導や挨拶の励行、身だしなみ指導等、遅刻生徒数の減少を目指す。特に、登校指導の自転車指導を強化する。
 - ・SNS上のトラブルに対する喚起を、より徹底していく。
- (5) 進路指導
- ・進路情報を生徒、保護者に1学年から計画的に伝え、模擬試験を全員に受けさせてデータに基づいて一般入試での4年制大学進学者数を増加させる。
- (6) 健康・安全
- ・働き方改革からも効率的な業務作業を考え、ライフワークバランスの取れた職場環境づくりを推進され、年休等の取得率も高い。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

- (1) 協議委員人数 7人
- (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
6	1					

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

- ・委員の出席を促し、連携強化を深めた。

8 その他

- ・保護者のアンケート回収率は、昨年と比較して低くなった。
- ・評価精度の更なる向上のため、HPの充実や学校公開の機会を増やしていく。